



トラブルシューティング

- ・システム レポート (1 ページ)

システム レポート

システムレポートまたは `crashinfo` ファイルには、シスコのテクニカルサポート担当者が、Cisco IOS イメージのクラッシュを引き起こした問題をデバッグするときに使用する情報が保存されています。重大なクラッシュに関する情報の迅速かつ確実な収集とバンドルが、特定のクラッシュ事案によって情報が識別されるような方法で行われることが必要です。システムレポートが生成され、`harddisk:` または `flash:` ファイルシステムの「`/core`」ディレクトリに保存されます。リロード時はレポートは生成されません。

システムクラッシュの場合、次の詳細情報が収集されます。

1. `□□□□□□ core`
 - ・IOSd プロセスクラッシュが発生した場合の IOSd コアファイルおよび IOS `crashinfo` ファイル
2. `□□□□□□`
3. `□□□□□□□□□□`
4. `□□□□□□□□`
5. `□□□□□□□ /proc □□`

このレポートは、ルータが ROMMON/ブートローダーに対してダウン状態になる前に生成されます。この情報は、個別のファイルに格納されてから、アーカイブされて `tar.gz` バンドルに圧縮されます。これにより、クラッシュのスナップショットを1つの場所で取得して、分析のためにボックス外に移動できるようになります。

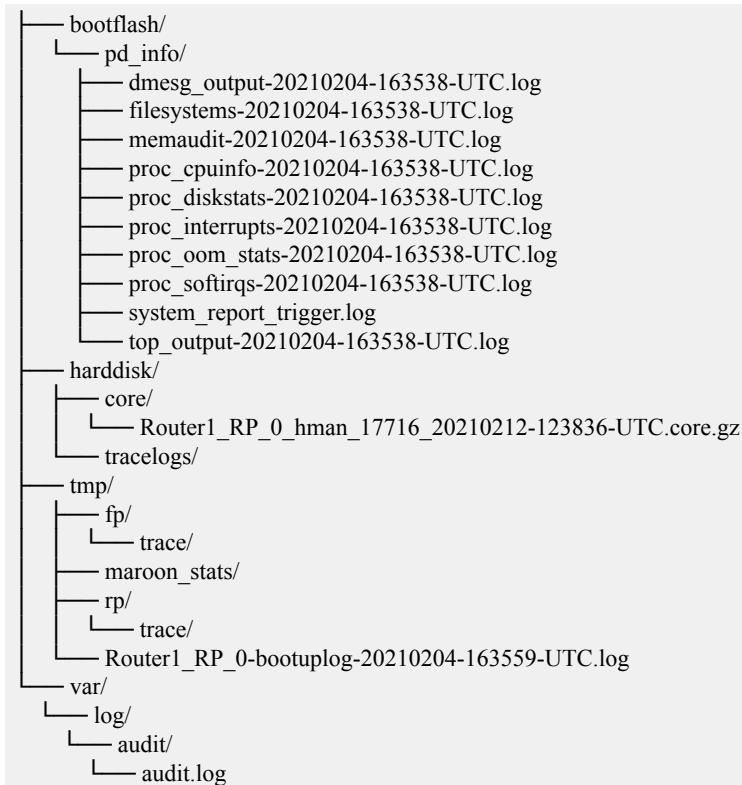
デバイスのホスト名、システムレポートを生成したモジュールの ID、およびその作成タイムスタンプがファイル名に組み込まれます。

`<hostname>_<moduleID>-system-report_<timestamp>.tar.gz`

例 :

`Router1_RP_0-system-report_20210204-163559-UTC`

ホスト名が **Router1** のデバイスで、**RP0** モジュールの予期しないリロードが発生し、2021 年 2 月 4 日午後 4 時 39 分 59 秒 (UTC) にシステムレポートが生成されました。



翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。